

—勝浦市の自然資本の利用拡大に向けて—

1. 現状と方向

NHKTV 「激変する世界ビジネス 脱炭素革命の衝撃」

2017年12月17日 <http://www.dailymotion.com/video/x6btpoa>



ハリケーン ハービー  
史上経験の無い

北極海氷  
201801縮小



DHL社配送車  
EV内製化

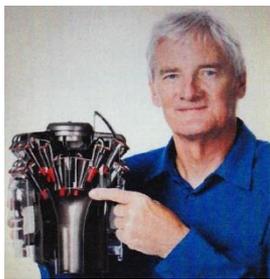


パリ ガソリン車  
進入禁止2030



2017年米国**自然災害により30兆円強**の被害/世界の金融は！  
化石エネルギーから自然エネルギーへ大転換 ドイツは36%

- \* 温暖化対策 手遅れに近い
- \* 日本は周回遅れ…石炭火力/原発推進、24%少ない再エネ導入
- \* **世界の潮流 化石燃料削減、温暖化対策強化へ**  
**COP21（パリ協定）/ダボス会議（ESG投資、SDGs）**



あのダイソンEV車  
開発販売へ

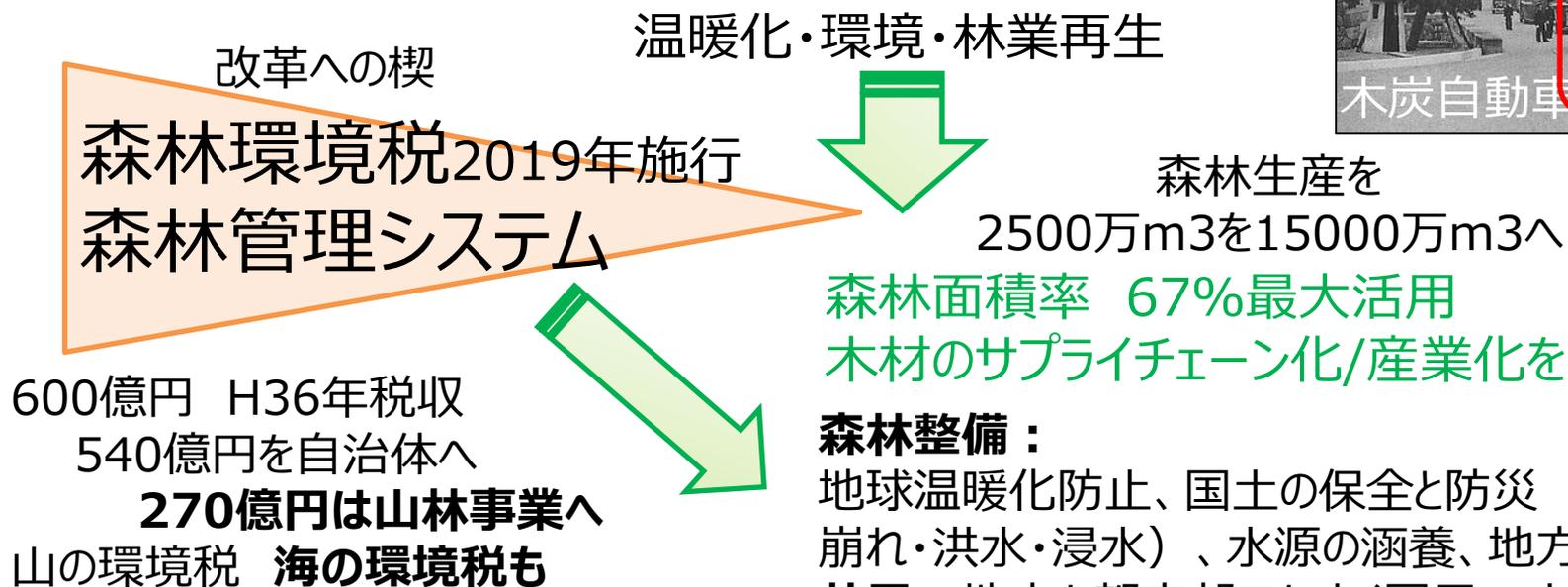
## 2. 自然資本…バイオマスとは

紙ごみ、動物排せつ物、食品廃棄物、木材、汚泥等  
稲わら・麦わら・もみ殻、さとうきびやトウモロコシ

↳ ストーブ、ボイラー、熱電併給、自動車の燃料へ



## 3. バイオマスでの制度設計



## 4. 皆の意識を変えよう

- \* 経済ファーストは？
- \* 原子力発電神話は嘘？
- \* エネルギーと環境と温暖化を**自分事**として考えよう！

## 5. 勝浦市にご当地電力会社を！

人口 : 18000人 👉 2040年 15600人へ  
世帯数 : 約8800  
エネルギー代 : 60億円？ (総生産額600億円？ 市財政90億円)  
家庭消費電力量 : 3,600万kWh (4090kWh/年世帯として)

約4200kWの発電所1基あれば、全家庭に電力供給ができ、化石燃料  
ではなく 風力/太陽光/メタン/木材で電気を生産できます

木質 : 仮に**1000kW熱電併給施設**の材量は1.2万t/y (約32m<sup>3</sup>/d)  
市内山林5800ha (約120万m<sup>3</sup>もの材積がある)

生ごみ : 5000世帯 + aの生ごみ2t/dから100m<sup>3</sup>のガスが発生  
ガス1m<sup>3</sup>で、20km走行。 **3 m<sup>3</sup>で小型バス、スクールバスが走れる**

無論 太陽光発電を 家庭 学校 公共施設、の屋根と農地へ  
小水力発電 いすみ川、20本の小河川へも設置

将来 波力や潮汐発電、洋上風力発電も

勝浦市は 正しく **森 里 川 海** の連関 循環を形成出来る地域  
勝浦地域内資源を最大限活用し、地域経済循環を興そう  
化石燃料から自然エネルギーと再生可能エネルギーへ